

活動推進NEWS

消費税大増税STOP「意見広告」

このニュースは各県各界連・加盟団体にお送りしています。ご活用下さい。

●発行日2014年2月3日

●消費税廃止各界連

「意見広告」デスク

豊島区目白2-36-13(全商連内)

Tel:03-3987-4391

Fax:03-3988-0820

意見広告募金、続々届く。

中央各界連の事務所に連日届く郵便局からの通知の封筒がどんどん大きく厚くなっています。振込用紙には増税への願いがびっしり書き込まれています。一部を紹介します。

- 消費税の増税は、必ず失敗します。(岡山)
- 弱い人からむしりとる消費税増税反対!(神奈川)
- 増税中止をキッパリ我らの手で(東京)
- 年金は減らされ医療費は上がり踏んだり蹴ったりだ。(宮崎)
- 辺野古の「米軍基地」や「原子カムラ」のために増税しないで(大阪)

募金とともに怒り・声を集める運動、大きく広げよう!

運動の成功に向けて「募金活動だけに終始せず、全国的に大きなうねりを作ることが増税中止へつながる」という論議が進んでいます。各地・各団体の取り組みを紹介します。

【京都発】 京都各界連は、事務局団体会議で話し合い、1500人以上に参加をよびかけようと決めました。意見広告になぜ取り組むのかとの議論が活発にされました。「8%への増税はもう決まったので、仕方なく対応に追われている」などの話も出されましたが、「最後まであきらめずにたたおうとよびかけることが重要。そのために自分たちで支え合おう」と決意を新たにしました。

【熊本発】 県各界連では700口を目標に、各地域・団体でも目標を決めることにしました。民医連は団体で40口+個人にも呼びかけます。宇城各界連は100口の目標にチャレンジします。3月13日の全国重税反対行動の準備とも連動。今年は県としての実行委員会も立ち上げ、税経新人会や生活と健康を守る会などにも呼びかけ、参加を広げていくことにしています。

【消費税をなくす全国の会】 1月15日の常任世話人会で、目標を4千人と確認しました。会報「ノー消費税」の読者に依頼しようと、1月25日に発送した会報に意見広告の目的や内容を掲載しチラシを折り込

みました。読者から「身体が不自由だが意見広告には参加できる。このような運動を待っていた」「趣旨には大賛成。20口分1万円を振り込みました」などの反応が返ってきています。

【全商連】 1月16日の連絡文書で、①くらしや経営の実態を出し合い、意見広告の意義を話し合う。②全会員参加の運動めざし、会員数の1割以上参加を目途に目標をもつ。③地域各界連で話し合い、共同の取り組みとし、3・13重税反対統一行動も成功させよう。と提起しました。**新潟県商連**では「支部や民商が肩代わりするのではなく、一人一人の会員へ働きかけていく運動に」「民商として支える力を発揮しよう」と議論し、会員の2割を目標に決めました。**広島県商連**も会員の2割以上を目標に取り組みます。**香川県商連**では、会員比5%を目標にスタートしましたが、1月の取り組みはあまり広がらず。そこで、目標を会員比30%に引き上げ、2月の班会などで集まって議論する主軸に「意見広告運動」をおくことにしました。

